

## 第13回 「近世在方集住大工の研究」から・・・

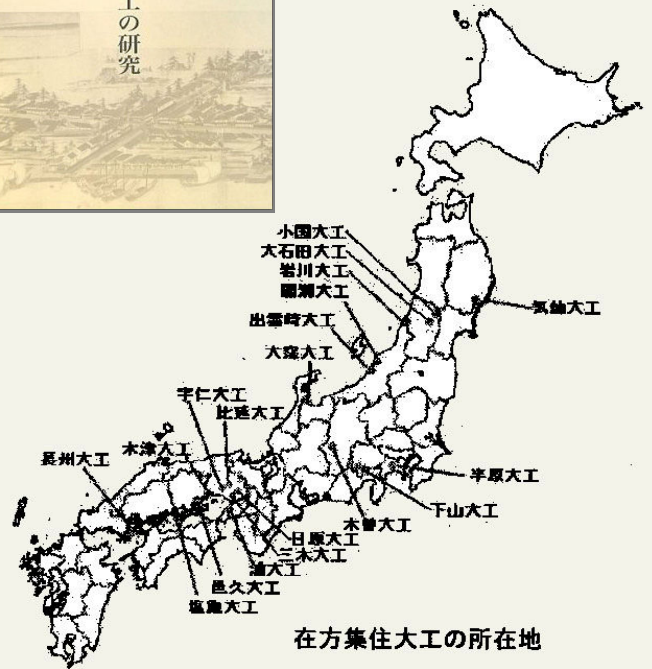
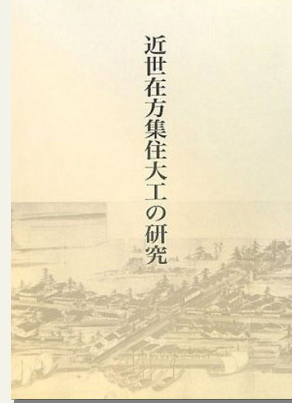
# 大工集団はどうやって木造建築を造ってきたのか

江戸から明治にかけ、気仙大工や大石田大工、出雲崎大工などと呼ばれ、日本各地の地方(在方)にまとまって住み、出稼ぎをしていた大工集団がありました。彼らは「在方集住大工」と呼ばれ、必要などころに出向き建築を造り、造るばかりでなく機をみてメンテナンス等も行っていました。各地の山林や杣人とも精通し、独自のネットワークを持っていた高度な技術者集団であったと言います。

近代の建築生産システム、木造技術の発展にもかかわらず存在であったはずですが、今まで記録は少なく、研究されることもなかったために彼らの存在が知られることは少ないものでした。

「建築には必ず造った人がいる。その人が明らかになれば建築の理解はより進む」と言う高橋氏は、1975年ごろから地元である陸前高田の気仙大工の調査研究を始め、全国各地の職人集団へと体系的にまとめられました。その研究の集大成として昨年『近世在方集住大工の研究』が上梓されています。

今回は、この書の主人公である木造建築の直接の担い手たちの活動を見ながら伝統構法を考えていきます。



【日 時】平成 23 年 3 月 5 日 (土) 13:30~16:30 (開場 13:00)

【会 場】中央工学校 17 号館 1711 教室 (東京都北区王子本町一丁目 2 6 - 1 7)

【講 師】高橋 恒夫 氏 東北工業大学建築学科教授

【定 員】60 名 (申込順、定員になり次第締切)

【参加費】2,000 円

【申込・問合せ】これ木連事務局

(NPO 日本民家再生協会内 担当: 金井)

TEL: 03-5216-3541 FAX: 03-5216-3542

Eメール: koremoku@e-mail.jp

【締 切】3 月 3 日 (木)

参加者 1 名ごとに、氏名、所属、電話、ファクス、メールアドレスを明記のこと。

【主 催】これからの木造住宅を考える連絡会

財団法人住宅産業研修財団 優良工務店の会  
職人がつくる木の家ネット  
NPO 伝統木構造の会  
有限責任中間法人 日本曳家協会  
NPO 日本民家再生協会  
NPO 緑の列島ネットワーク



【交通】JR 京浜東北線「王子駅」北口 または、地下鉄南北線「王子駅」より 徒歩 5 分

■講師プロフィール

高橋 恒夫 氏



1948年宮城県生まれ。  
1971年東北工業大学工学部建築学科卒業。  
1992年博士(工学)。  
現在、東北工業大学工学部建築学科教授。  
著書：「近世在方集住大工の研究」中央公論美術出版  
(2010年2月発行)

.....申し込み.....

(メール申し込みの場合は下記内容を koremoku@e-mail.jp まで)

◆連続講座「伝統構法を考える勉強会」

第13回 「近世在方集住大工の研究」から・・・

大工集団はどうやって木造建築を造ってきたのか に参加します。

①	氏名：		会社：		所属する 団体等：	
	連絡先 TEL：		連絡先 FAX：		連絡先 Eメール：	
②	氏名：		会社：		所属する 団体等：	
	連絡先 TEL：		連絡先 FAX：		連絡先 Eメール：	
③	氏名：		会社：		所属する 団体等：	
	連絡先 TEL：		連絡先 FAX：		連絡先 Eメール：	

**FAX 03-5216-3542**

